

平成21年度第2回地域医療推進部会 会議録

1. 日 時 平成21年11月18日(水)午後7時50分～午後8時35分
2. 場 所 帯広市役所 第2会議室
3. 出席者 堀修司部会長、有田修造副部会長、鹿野泰邦委員、渡邊秀教委員、箕浦義則委員、
稲葉秀一専門員、舘盛洋子専門委員、森茂樹専門委員

4. 会議次第

- (1) 前回議事録の確認
- (2) 平成20年度保健事業について

5. 会議内容

○事務局

本日は、大変お忙しいところ、ご出席いただき、誠にありがとうございます。

開会に先立ちまして、4月の役員改選により、前田専門委員の後任に帯広市医師会から稲葉専門委員にご就任をいただいております。稲葉専門委員からご挨拶を頂戴いただきたいと思います。

○委員

今年度から委員になりました稲葉です。よろしくお願いいたします。

○事務局

それでは、ただ今から、平成21年度第2回地域医療推進部会を開会させていただきます。

本日、地域医療推進部会委員9名中8名のご出席をいただいておりますので、本日の部会は成立しております。

それでは、これより、議事の進行につきましては、堀部会長にお願いいたします。

○部会長

それでは、会議に入らせていただきます。

最初に、前回会議の議事録の確認についてを議題といたします。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定になっています。

議事録につきまして、ご質問やご意見があればお願いします。

【質問・意見なし】

○部会長

別になければ、会議録は了承されたものといたします。

次に、平成20年度保健事業についてを議題といたします。

事務局、説明願います。

○事務局

本日配布させていただいております資料のうち平成20年度保健事業(健康推進課関係)について説明させていただきます。

まず、1が保健福祉センター利用状況ということで、上の表が色々な事業での利用者の方々の合計で56,523名、下の表は各種の相談で合計11,223名、合わせまして67,756名の利用がありました。平成18年度に新しい保健福祉センターに移転いたしまして、平成18年度が約65,000人、平成19年度が69,000千人でございます。2番目は、感染症などの予防ですが、主なところでは、(1)予防接種の実施状況では、三種混合が5,454人以下それぞれの予防接種を実施しております。(2)結核検診の実施状況では、BCGの接種は1,401人、

4ヶ月健診の際に行っていますので、ほぼ100%の状況です。(3) インフルエンザ予防接種の実施状況は、毎年の季節性インフルエンザの予防接種に帯広市独自の補助制度がございまして、①の中学生3年生、高校3年生の接種につきましては、多い方で2回接種するのですが、1回ごとに1,500円の補助を出しております、その接種者が1,662人です。中3につきましては、対象者1,603人のうち1,055人が接種しております65.8%になっております。高3の方は、1,706人の対象者に対して607人で接種率35.6%ということで、進学率と比例しているところかなと思われるところであります。②の高齢者、これは65歳以上の方を対象といたしまして、自己負担1,000円で接種ができるという制度がございまして、これにつきましては対象者35,684人に対しまして接種者が18,872人で52.9%の接種率になっております。毎年少しずつ高くなっております。今年は新型インフルエンザの流行ということもありますので、率としてはかなり上がってくるのではないかと考えています。(4) 麻しん・風しんの定期予防接種の関係で、はしかの撲滅の取組みが20年度から全国的に行われまして、中学1年生と高校3年生に相当する年齢の方々、5年間の時限ですが、3期、4期ということで新しく付け加えましてそれぞれ接種を行っています。3生活習慣病の予防ですが、(1)の健康教育、(2)健康相談、(3)検診の実施等が行われております。この検診の中で、がんの検診が載っていますが、これを受診率で申し上げますと、胃がんが14.1%、子宮がん28.0%、乳がん20.5%、前立腺がん126.0%、肺がん17.2%、大腸がん16.6%で、国の対策では受診率50%の目標を掲げていまして、われわれもそれを目指していますが、これがなかなか伸びていない状況であります。なお、平成21年度におきましては、20年度まで大腸がん検診が集団検診だけでしたが、医療機関におきましても利用できるように拡大しました。子宮がん・乳がん検診の女性特有のがんにつきましては、5歳刻みですが、国で費用を無料にするという新しい制度がありましたので、これをきっかけに率が上がってくればと考えているところです。以下、(4)市民検診の保健指導、(5)健康づくり講座、(6)リラクゼーション事業、(7)すこやかロード事業があります。この(7)すこやかロード事業は、帯広市では健康づくり推進員というボランティアを養成していますが、その方々が、平成19年度から、日常的に歩くことができる場所にすこやかロードという名をつけまして、その適地を探す取組みを続けた結果、平成20年度健康ロードマップの6箇所を選定し、北海道健康づくり財団に申請したところ、21年度に認定を受け、つい最近その地図も完成したところです。次に、4寝たきり・認知症の予防ということで、(1)訪問指導の実施、(2)身体障害者体力向上トレーニング事業、(3)介護予防個別評価事業、(4)いきいき温泉事業、これはグリーンプラザの温泉を利用している事業を実施しています。5エキノコックス症検査事業は、22人が受診しています。6救急医療体制の実施状況の(1)休日、夜間における急病診療の状況の①一次救急の状況は、夜間急病センターのほか、医師会の方で在宅当番制を実施しています。夜間は午後7時から9時まで1年365日、内科小児科系の一つの医院がこれに担当しています。休日・日曜日につきましては、これも医師会の方で担当していただき、内科・小児科系が2つの医療機関、外科系が1つ、産婦人科1つ、合わせて4つの医療機関において午前9時から午後5時までの当番をしていただいております。また、歯科医師会の方では、休日の歯科診療ということで十勝歯科保健センターにおきまして午前9時から午後4時まで診療を行っています。それぞれ患者数もこのとおり利用されております。②の二次救急ですが、厚生病院、協会病院、第一病院の3つの病院、そして整形外科の分野で開西病院と協立病院に協力いただきまして、合わせて5つの病院において取り組んでいただいているところです。(2)休日、夜間における一次救急医療機関の案内ですが、帯広市の急病テレホンセンターの利用も年間9,747件です。次に平成20年度の決算の状況を

簡単に説明させていただきます。保健衛生総務費の決算が91,911千円。主な事業ですが、厚生病院の救命救急センター運営補助8,900千円、協会病院と医師会が経営されている看護学校運営補助が合わせて約8,000千円、十勝複合事務組合が運営している高等看護学院運営負担金が43,000千円です。夜間急病診療費の決算額が209,800千円。主な事業ですが、先ほどお話ししました一次救急の在宅当番、休日歯科診療、二次救急、夜間急病センターです。そのうち夜間急病センターにつきましては、124,000千円の経費を支出しています。予防費の決算額が259,000千円。主な事業では、予防接種に98,000千円、インフルエンザの、高齢者、中3高3に対する補助で42,000千円、生活習慣病対策の各種がん検診で96,000千円です。最後に保健福祉センター費の決算額が51,000千円。これは館の維持管理に要する経費で、電気・ガス・水道、修繕料等に要した経費です。合計しまして健康推進課分として612,000千円の平成20年度の事業執行にあたっての支出であります。説明は以上でございます。

○部会長

事務局の説明につきまして、何かご質問やご意見はございますか。

○委員

最後の説明のありました決算状況ですが、予算に比べて20,600千円ほど未執行になっていますが、何が大きな要因がありますか。

○事務局

一つは、予防費の老人保健等推進に要した経費が3,9000千円減ですが、内容的にはがん検診等に要した経費でして、予算でもう少し高い受診率を見込んでいたのですが、それに至らなかったものです。また、結核予防に要した経費で人数を沢山見込んでいたのがそこまでに至らなかったものです。また、夜間急病関係では、積算していたのと若干回数の差が出てきたため不用額が生じたものです。それらが主な要因です。

○委員

3生活習慣病の予防の健康教育ですが、婦人会や老人クラブという区分で講演をしたのでしょうか。

○事務局

団体、サークルなどから声をかけていただきましたら、私どもの職員が出向きまして、要望のある例えば、生活習慣病の予防や新型インフルエンザなどについて話をさせていただいております。委員のところでそのような機会がありまして声をかけて呼んでいただきたいと思います。21年度も引き続き実施していきます。

○委員

(7)すこやかロード事業ですが、手元の資料には記載がありませんでした。

○事務局

申し訳ありませんでした。ものになったのが21年度でありました。もう少し話をさせていただきますと、町内会の健康教育で約50人余のボランティアで毎年養成講座をしております。健康づくりに各町内会などで活躍していますが、日頃から手軽にできる運動がないだろうかということで、毎日ウォーキングできるような場所を19年度から探していただきまして、例えば緑ヶ丘公園の中に1週2キロのコースなど6箇所ができました。今日は地図を持ってきていませんので、次回皆様にご覧いただきたいと思います。

○委員

市民検診・健康診査の保健指導の状況ですが、20年度1年間の支援実施分ということで、積極

的支援が3人、動機付け支援が0となっていますが、これはどういうことですか。

○事務局

各保険者が行う特定健診と別に、生活保護や35歳から39歳までの方だけの部分です。

○部会長

すこやかロードのことですが、一般的に内科の先生方は糖尿病の人に歩くよう指導するようですが、薄い靴を履いて30分コンクリートの上を毎日歩くと膝、足を痛める人が結構います。土や草のあるところにコースを設定いただきますと良いのではないかと思います。

他になければその他として委員の皆様から何かないでしょうか。なければ事務局の方から何かありますか。

○事務局

話題提供として新型インフルエンザの関係の資料が皆様のところにあります。色のついたものは全戸配布したものです。2ページ目ですが、今月16日から妊婦さん、基礎疾患の最優先の方は接種が始まっています。帯広市内ではおよその数ですが、スケジュールに出ています優先接種の対象者は8万人余り、そのうち2万人余りが低所得者ということで公費で接種料を助成するという取組みを進めているところです。この関係で電話が殺到している状況です。次に、白いA3の見開きのものですが、北海道感染症情報センターで出しています各保健所の定点当りのインフルエンザの報告数です。十勝管内ですが、第43週10月19日から25日の週ですが、57.00がピークでその後徐々に沈静化しているところです。3ページ目は、医師会で集約しました夜間当番の患者の数です。一番ピークが10月24日土曜日85人が来られました。先ほどの定点のピークと比例しています。最後の4ページですが、予約・接種のスケジュールの予定で、明日19日の午後4時に道庁が各保健所と一斉に報道発表する資料です。基礎疾患を有する方（その他）と1歳から就学前の幼児が12月4日から接種開始の予定ということで発表される段取りになっています。これらの方々は11月24日から予約開始ということで、これに合わせて接種を実施する医療機関が北海道のホームページで公表されると聞いています。以下、小学生1から3年生、1歳未満児等の保護者、小学生4から6年生、中学生・高校生・高齢者については、当初の予定よりも前倒しを北海道で検討をしています。次に、もう1枚の資料ですが11月11日に厚生労働省で接種回数の見直しを発表しました。健康成人は1回接種、妊婦も1回接種、基礎疾患を有するものは原則1回接種、主治医の判断で著しく免疫反応が抑制されている者は2回接種、中高生は当面2回接種ですが、今後の臨床試験を踏まえて判断するという、65歳以上の者は1回接種ということで、接種回数が見直されたということで、先ほどの接種スケジュールも今北海道で前倒しを検討しているということです。

○委員

ワクチンの供給量は問題ないのでしょうか。

○委員

3回目の11月16日接種開始における供給量は、こちらで要求した量の65%から70%でした。ただ、そのときは2回接種を原則としているタイプでしたので、そのときの要求はだいたい通っている状況です。私の印象では、基礎疾患、子供さん含めて年内にはだいたい全部打てると思います。もう一つ話題としまして、先日常広でスケート大会がありました。これが集団感染の引き金になっているというのをご存知でしょうか。私のところに集団で受診に来ています。情報として市に提供しておきます。

○委員

ワクチンで1ccと10ccがありますが供給量としてはどちらが多いですか。

○委員

私のところでは、半々ぐらいです。その分の人数を集めて接種しています。集団接種のために、10ccを作っているものです。

○委員

国産ワクチン以外のものの普及はどうなっていますか。

○委員

医療機関が安全性の問題もありますし、いろいろな問題がありまして果たして打つかどうか、接種される対象者がいやだと言うとそれまでです。ですから、その辺はなんとも言えません。

○委員

季節性と一緒に打っても問題ないのですか。

○委員

原則は一緒でもいいと言っていますが、ただ、新型ワクチンについては安全性が確立されていませんので、私は1週間空けて打っています。

○委員

打ったあと抗体ができるまでどのくらいかかるのですか。

○委員

だいたい2週間です。そのかわり、5ヶ月以内に効果が消失します。

○委員

もう罹患した子供たちはワクチンは必要ないのですか。

○委員

国の指針では、PCRで調べていないので、とりあえずA型でかかったという人でも、希望すればワクチンを打つというのが指針です。ただ、今新型ですので、かかった人に2回打つというのもコストも含めてどうかなとは思いますが。

○部会長

それでは事務局の方から次回の日程をお願いします。

○事務局

先ほど親審議会の方で次回1月予定ということでありますので、それに合わせて部会の方も1月に部会長の日程とも相談の上、各委員の皆様にお知らせしますのでよろしくお願いいたします。

○部会長

親部会と一緒にやりますか。一緒にやらなければならない題材でしょうか。

○事務局

当部会としては、直接地域福祉計画とは関係ありませんので、一番効率的な方法を模索したいと思います。

○部会長

親会では1月上旬と言われたので、この会を1月上旬に開いてもと思ったものですから。話題が当部会としてどうしても必要であれば親会と一緒にでもいいですが、そうでなければ今度は早い時間に開いて早い時間に終わってほしいと思います。

以上で閉会といたします。ご苦労様でした。